

日本臨床発達心理士会千葉支部 2020年度第2回資格更新研修会のお知らせ

日時 2020年11月15日(日) 13時00分～16時00分

会場 Zoomによる配信(入室は12時40分より可能)

千葉支部会員向け研修会(他支部からの参加はできません)

事前参加申込が必要、定員65名、参加費1,000円、研修ポイント1ポイント

テーマ「臨床発達心理士における倫理と実践」

講師 渡邊 正人 先生(千葉県立船橋夏見特別支援学校)

要旨

本研修会は、臨床発達心理士としての「倫理」をどのようにとらえ、どのように対応していけばよいか、考え方の基本として以下の内容を、講義と事例検討をとおしてともに学び合い、資質の向上と相互啓発の機会とすることを目的とする。

- ・臨床発達心理士としての倫理の基礎を理解する。
- ・臨床発達心理士として臨床現場で配慮することの意味を学ぶ。
- ・倫理問題に対する多様な見方について理解する。
- ・臨床現場での倫理問題の事例について考える。

○参加方法

- ◆千葉支部会員向け研修会で事前参加申込が必要です。

申込受付期間 2020年9月20日(日)より10月10日(土)まで。

氏名、登録番号を明記の上、jacdpchiba@yahoo.co.jp宛てにメールで送信してください。参加の可否についてと参加費の振込方法について返信します。なお、定員になりしだい締め切りといたします。

- ◆2020年度までの会費が未納の方は参加できません。不確かな場合は必ず申込前に会員情報管理システム SOLTI で確認してください。
- ◆参加費の振込が完了した方に、研修会資料の配布方法と Zoom への参加方法について、メールで送信します。申込時のアドレスに返信しますので、必ず返信メールが受け取れるアドレスから参加申込をしてください。
- ◆当日の研修会終了後1時間以内に、講義の中にあつた複数の「合い言葉」等についてメールで送信していただき、研修会参加が完了したことになります。
- ◆本研修会に参加するためには、Zoom ミーティングに参加するための設備(パソコン、Webカメラ、マイク等)と環境(ソフト、インターネット接続)が整っている必要があります。
- ◆Zoom に不慣れな方のために、事前に接続・参加のテストをする練習会を設けます。日時と方法については参加者にメールでお知らせします。

○確認事項と遵守事項

申込にあたっては必ず下記についてご確認ください。申し込まれた方については下記の確認事項と遵守事項に同意されたものとさせていただきます。

◆確認事項

当日の通信状況や参加者の操作ミス等により講義を視聴できなかった場合について、講義内容の再配信は行いません。視聴できずポイントが付与されなかった場合は参加費を返金いたします。

また、参加費振込後にキャンセルをされ視聴しなかった場合も返金をいたします。

返金額は参加費から振込手数料を差し引いた金額といたします。

◆遵守事項

1. Web 研修会を受講できるのは、受講申込をした本人に限られます。本人の代わりに他人が受講してはいけません。
2. 講義や資料のリンク先の URL を他人に教えたり、SNS やブログなどで公開したりしてはいけません。
3. 講義を撮影、録画、録音、公開をしてはいけません。
4. 講義内容や配付資料を SNS やブログなどに公開してはいけません。
5. 配付資料の電子ファイルを他人に送信したり、コピーを他人に配付したりしてはいけません。
6. その他、倫理綱領に抵触する行為をしてはいけません

(以上の遵守事項は、「士会支部主催のオンライン研修会においてポイントを付与する基準」

2020.8.8 日本臨床発達心理士会執行部会、より)

千葉支部 2020年度第2回資格更新研修会 報告

2020年11月15日(日)13時～16時 Zoom 配信によるオンライン研修会

テーマ「臨床発達心理士における倫理と実践」

講師 渡邊正人先生(千葉県立船橋夏見特別支援学校)

2020年度第2回資格更新研修会について、本研修会は千葉支部としては初めてZoomによるオンライン研修会として実施いたしました。事前の準備も含めて報告をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で対面式の研修会の開催が難しい状況のなか、5月に予定していた第1回資格更新研修会は中止となりました。千葉支部役員会では、中止になった内容の倫理研修会を第2回研修会で実施することについて、6月末から検討に入りました。いくつかの方法が話題にありましたが、最終的にZoomによるオンライン研修会とすることにし、早速にZoomプロのライセンスを契約し、様々なテストを行いながら準備を進めました。オンライン研修会にともなう事前準備や参加者数の制約ことを考慮し、千葉支部会員向けとさせていただきました。この間、役員会についてもZoomによるミーティングで行いました。

ネット環境の整った配信場所の確保、トラブルにより視聴できなかった方への再配信はどうか、といった懸案事項もありましたが、幸い千葉大学からの配信が可能となり、オンライン研修会実施の運びとなりました。

準備にあたっては、トラブルなく実施するために事前に実際の配信場所からの配信テストや、参加者の方向けに接続・参加のテストをする練習会を行い、研修会当日を迎えました。

研修会の進行は、3名の役員(講師を含む)が千葉大学に出向いて行いました。入室の時間は参加者の皆さんが問題なく入室できるか緊張の瞬間でしたが、スムーズに次々と入室していただき研修会がスタートしました。進行方法、注意事項の説明のあと、支部長のあいさつがあり講師の渡邊先生の講義に入りました。

講義の内容は、まず倫理研修会実施システムがどのようになっているのかから始まり、臨床発達心理士としての倫理の基本事項、倫理綱領の各条文について、また、国家資格である公認心理師法や日本医師会の倫理綱領についても、途中休憩を挟みながら説明がありました。

その後、2つの事例をもとにワークショップを行いました。事例の読み取り方や情報の整理のしかたについての説明があった後、1つ目の事例については多重関係への配慮について講師から状況の説明、参加者が各自で検討した後、講師が問題点、対応策、配慮事項等について解説する形で行いました。2つ目の事例は、発達支援における配慮と多職種連携について、事例紹介の後少人数グループによる検討を行いました。7名程度の計7グループによるディスカッションでは、この事例の主な配慮事項であるアセスメントの際に障害名や特性を挙げることや医療機関との連携について話し合わせ、グループの話し合い終了後、代表して3グループより検討した内容を紹介してもらいました。

その後、日本臨床発達心理士会の倫理・懲戒規定と、倫理相談を行う際の申し立てから相談の流れについても説明があり終了の時間となりました。

研修会終了後、研修会のなかで提示した「合い言葉」を1時間以内にメールで送信していただくこととなっていました。終了と同時にメールが次々と送られてきて、早速にメール受信が完了しました。その後、本部に参加者名簿を送付しポイントの付与も完了しました。

最終的な参加者は47名でした。初めてのZoomによるオンライン研修会でしたが大きなトラブルはなく終了することができました。参加者の皆さまのご協力に感謝いたします。新型コロナウイルス感染の状況が好転・収束の方向に向かうことを願うばかりですが、しばらくは対面式の研修会実施は難しいと予想され、今回のようなオンライン研修会が主になっていくと思われます。今後も千葉支部会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(事務局 鈴木彰典)